慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	高橋智教授略歴・業績目録			
Sub Title	Biographical resume & list of publication of Professor Satoshi Takahashi			
Author	高橋, 智(Takahashi, Satoshi)			
Publisher	慶應義塾大学藝文学会			
Publication year	2022			
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.123, No.2 (2022. 12) ,p.[i]- xvi			
JaLC DOI				
Abstract				
Notes	髙橋智教授退任記念論文集			
Genre	Article			
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01230002-005			

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

髙橋智教授

略歴・業績目録

略歴 (二〇二二年一〇月現在)

【学歴】

一九五七年七月十日 宮城県仙台市生まれ

九六四年四月一日~一九七三年三月三一日 仙台市・福島県喜多方市、 原町市、三春町の小中学校に在学

九七三年四月一日~一九七六年三月三一日 福島県立安積高等学校・宮城県古川高等学校在学

九七八年四月一日~一九八三年三月三一日 慶應義塾大学文学部中国文学科在学

卒業論文「『義』を中心としてみた趙岐に於ける諸観念の検討」(指導・村松暎教授

九八四年四月一日~一九八六年三月三一日 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程在学

修士論文「孟子古註攷」(指導・村松暎教授)

九八六年九月一日~一九八八年九月三〇日 九八六年四月一日~一九九〇年三月三一日 慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程在学 中国上海復旦大学古籍整理研究所高級進修生 (単位取得退学)

一〇〇八年五月 「室町時代古鈔本『論語集解』 の研究」で博士(文学)取得(主査佐藤道生教授

*大学では、中国および中国人について、を村松先生に学び、 た上海図書館名誉館長の顧廷龍先生に中国版本学を学んだ。 所斯道文庫の阿部隆一先生・大沼晴暉先生には和漢書誌学を学ぶ。 中国語は藤田祐賢・岡晴夫・山下輝彦先生に学び、 上海では、 章培恒先生が指導教授で兼任教授であられ 附属研究

【職歴】

九八九年四月一日~一九九六年三月三一日 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫助手

一九九六年四月一日~一九九九年三月三一日 目

一九九九年四月一日~二〇〇九年三月三一日

二○○四年四月一日~現在二○○四年二月一日~三月三一日

二〇〇九年八月一日~二〇一〇年三月三一日二〇〇九年四月一日~二〇一七年三月三一日

二〇一七年四月一日~現在

同助教授同專任講師

早稲田大学非常勤講師

台湾師範大学訪問研究員

(台湾交流協会派遣

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授

慶應義塾大学文学部教授中国北京大学古文献研究所特聘研究員

【その他の役職】

公益財団法人大倉文化財団大倉集古館評議員 公益財団法人永青文庫評議員

(慶應義塾大学との交換教員

研究業績

端を学び、得たものを平易に伝えることにも力を注いだ。昨今、中国の若い研究者が、日本の「書誌学」に関心を抱き、大 患った。かつて江戸享保時代、山井崑崙という学者が足利学校で儒教経典の比較校勘を行って、愛媛西条藩に戻り、 る和刻本をめぐる研究には、相当の労力を傾けた。『孟子』のテキストの比較校勘を行った際には、精魂尽き果て、 に、それらが日本に伝わって影響を及ぼした、主に室町時代を中心とする古写本、近世初期の古活字版、江戸時代のいわ いに吸収・研究される様子は、 して世を去ったことを想起した。また、中国の「文献学」、日本の「書誌学」は、それぞれ深い領域を包含するが、その一 ものである。 研究の対象は、 中国宋時代 中国古典籍 (九六〇~一二七九)から清時代(一六四四~一九一一)にわたる、主に印刷本の研究である。 (漢籍) 一衣帯水の思いを新たにさせられる。 のテキスト (版本)を中心とし、 以下、 現所在の調査や流伝、 内容・形式的な分類をもって、発表したものを その価値を追究しようとする 程なく 胃炎を

書誌校勘学研究

並べておく。◎印は単著

「旧抄本趙注孟子校記」(一)(二) 二年三月 「斯道文庫論集」第二四輯(27~36頁)一九九○年三月・同二六輯 (145 ~ 207 頁) 一九九

「古活字版趙注孟子校記」「斯道文庫論集」二八輯 269 310 頁 (39~27頁) 一九九三年一二月 一九九四年一二月

五山版趙注孟子校記」「斯道文庫論集」二九輯

「慶長刊論語集解の研究」 「斯道文庫論集」三○輯(107~20頁)一九九六年一月・同三一 輯 (81 ~ 247 頁) 一九九七年

月

「慶長刊大学中庸章句の研究」「斯道文庫論集」第三二輯 (95~26頁) 一九九八年二月

- 安田文庫蒐集古鈔本『論語集解』について」「藝文研究」第八七号(1~23頁)二○○四年一二月

「室町時代鈔本論語集解の研究」「斯道文庫論集」第四○輯(43~20頁)二○○六年二月

|清原家伝来室町時代鈔本『論語集解』について ―清原宣賢手定本の伝鈔―|

「藝文研究」第九一号第一分冊 (84~10頁) 二〇〇六年一二月

台湾故宮博物院所蔵 楊守敬観海堂旧蔵 室町時代鈔本『論語集解』について」

「斯道文庫論集」第四一輯 (15~16頁) 二〇〇七年二月

『室町時代後期清原家伝来古鈔本『論語集解』について ─清原枝賢本の伝鈔─』

『論語』と古鈔本『論語集解』」「斯道文庫論集」第四二輯 (31~179頁) 二〇〇八年二月

「日本漢文学研究」(二松学舎大学COEプログラム)第二号(1~29頁)二○○七年三月

「正平版

「室町時代古鈔本『論語集解』の研究」 汲古書院 二〇〇八年九月 334 頁

南北朝時代古鈔本 『論語集解』の研究-―猿投神社所蔵本の意義―」「斯道文庫論集」第四三輯 (153~180頁) 二〇〇九年二月

台湾故宮博物院所蔵観海堂旧蔵 日本古鈔本《論語集解》之価値

「故宮学術季刊」二五巻四期 (107~13頁) 民国九七年 (二〇〇八年) 夏 (中文)

「日本慶長時期漢籍活字本出版的意義―以《四書》為中心」

「北大史学」一四(北京大学歴史系)(18~32頁)二○○九年一二月(中文)

日本室町時代鈔本《論語集解》 的研究

「国際漢学研究通迅」二期(北京大学国際漢学家研究基地)(48~16頁) 中華書局二〇一〇年一〇月(中文)

「日本室町時代古鈔本《論語集解》 研究_

日本《論語》古鈔本綜合研究之一(1~13頁)(中文・楊洋訳) 北京大学出版社二〇一三年六月

日本南北朝 (一三三六~一三九二) 時代古鈔本《論語集解》 ─猿投神社所蔵本之意義─」

「従鈔本到刻本・・中日 《論語》文献研究」(日本《論語》 古鈔本綜合研究之一)(川 131頁) 北京大学出版

社二〇一三年六月

「真言宗御室派総本山仁和寺御所蔵慶長刊本『四書』の研究」 「斯道文庫論集」第四八輯(71~95頁)二〇一四年二月

明清内府本看過録」 「清朝宮廷演劇文化の研究」 539 556 頁 磯部彰編 勉誠出版 二〇一四年二月

日本南北朝時代写本 『論語集解』概略」「中国典籍日本古写本の研究」newsletter No.1 二〇一四年七月

一荘内藩致道館旧蔵漢籍について」「斯道文庫論集」第四九輯 (49~95頁) 二〇一五年二月

|慶長刊漢籍古活字本研究資料―斯道文庫所蔵本について―」「斯道文庫論集」第五〇輯(35~98頁)二〇一六年二月 |南北朝時代古鈔本『論語集解』の研究―台北故宮博物院所蔵楊守敬観海堂本について―_

「藝文研究」第一一一号(37~46頁)二○一六年一二月

「漢籍外典古写本研究資料─斯道文庫所蔵本について─」「斯道文庫論集」第五一輯(1~32頁) 二○一七年二月

愛知県 一宮市木村家蔵 〔鎌倉末南北朝〕写論語集解について」「中国典籍日本古寫本の研究」newsletter No.4 二〇一八

年一月

名古屋市蓬左文庫所蔵 貞和年間 本、 (一三四五~一三四八) 藤堂家旧蔵焼失本—」 寫本 『論語』二種について」「中国典籍日本古寫本の研究」 newsletter No.5 二○一九年一一月 「典籍日本古寫本の研究」newsletter No.7 二〇二二年三月 〈南朝・正平二~四年〉 奥書鈔本『論語集解 東洋文庫所蔵藤

《版本目録学研究》

|韓本趙注孟子について」「汲古」一二(汲古書院)一九八七年一二月

「恵棟校本春秋公洋注疏について」「斯道文庫論集」 第二三輯(25~24頁) 一九八九年三月

- 抱残守闕責在後人 ─島田翰の奇書─」「汲古」二○ (汲古書院) 一九九一年一二月

安井文庫研究之一、塩谷宕陰・木下犀譚批評安井息軒初稿 『読書余適』」 「斯道文庫論集」第三三輯 (1 1 122 頁) 一九九

九年二月

「安井文庫研究之二、安井家の蔵書について」

斯道文庫論集」第三五~三七輯 (189 ~ 257 頁、 239 ~ 348 頁、 125~15頁) 二〇〇〇~二〇〇三年二月

「根本通明先生蔵書紀略 ―根本文庫研究之一・二―」

「斯道文庫論集」第三八輯(☞~20頁)二○○四年二月・同第三九輯 (91~15頁) 二〇〇五年二月

「永島栄一郎氏旧蔵中国語言学資料について」「慶應義塾大学言語文化研究所紀要」三四 二〇〇二年一二月

·森鷗外『小嶋宝素伝』補」「藝文研究」第六五号(35~38頁)一九九四年三月

顧廷龍批注 『涵芬楼燼余書録』―中国版本学資料研究―」「斯道文庫論集」 一四五輯(1~36頁)二〇一一年二月

「内閣庫存書目について─中国版本学資料研究─」「斯道文庫論集」四六輯(29~38頁)二○一二年二月

|京師図書館善本簡明書目・稿本について─中国版本学資料研究─」「斯道文庫論集」四七輯(Ⅰ~87頁))二○一三年二月

清・嘉慶年間 (19世紀初頭)刊刻『十三経注疏』の版本について」「藝文研究」第一○五 − 一号(14~17頁)二○一三年

_ _ E

『春秋経伝集解』について」「高田時雄教授退職記念 東方学研究論集」 (143 152 頁) 臨川書店 二〇一四年六月

「漢籍を支えてきた蔵書文化」「ビブリア」一四二号 天理図書館 二〇一四年一〇月

- 朱印本『滂喜斎蔵書記』について―中国目録学研究資料」

稲畑耕一郎教授退休記念論集中国古籍文化研究」(29~35頁)東方書店 二〇一八年三月

- 致道館蔵書の世界」(二○一五年六月二○日鶴岡市立図書館講演録

「通史の中の庄内」─鶴岡市立図書館一○○周年記念歴史講演会講演録 鶴岡市立図書館・鶴岡市郷土資料

館・二〇一七年三月

|宋元版の鑑定||(杏雨書屋開館四十周年記念||第四十回研究会講演録)

「杏雨」第二二号 公益財団法人武田科学振興財団 二〇一九年五月50(名声言厚膊食甲)原名言名。 参卫一直布多名言泡金)

《書誌解題研究》

「新蒐古鈔本孔伝古文孝経」「三田評論」九三七 一九九二年六月

「宋末元初の『広韻』」「三田評論」九八七 一九九七年一月

「静嘉堂文庫所蔵『王右丞文集』解題」 米山寅太郎共著

汲古書院

二〇〇五年九月(古典研究会叢書漢籍之部三二)

·宋版史記・漢書・後漢書・古鈔本史記」「週刊朝日百科」五〇(朝日新聞出版社)一九九八年二月

静嘉堂文庫所蔵 『李太白文集』解題」 米山寅太郎共著 汲古書院 二〇〇六年一〇月(古典研究会叢書漢籍之部三七

·影印日本『論語』古鈔本三種解題」 北京大学出版社 二〇一三年六月

|東洋文庫所蔵正和四年本『論語集解』書誌解題」 汲古書院 | 二〇一七年三月(古典研究会叢書漢籍之部四

『音注孟子』解題」(五山版趙注孟子校記「斯道文庫論集」二九輯(29~30頁)一九九四年一二月の解題のみ中国語翻訳)

北京大学出版社 二〇一八(89~16頁)(日本五山版漢籍叢刊第一輯)

解題」(韓本趙注孟子について「汲古」一二(汲古書院)一九八七年一二月の中国語翻訳

『孟子趙氏注

「永青百冊」「季刊永青文庫」二○○八年秋号(六四号)~継続中 北京大学出版社 二〇一八(09~16頁)(日本五山版漢籍叢刊第 一輯

《研究発表・講演・シンポジウム》

清朝における十三経注疏校刻の一校察」 慶應義塾大学藝文学会 一九八九年六月

「正平版論語について「丸善日本中世印刷史展」 一九九八年一月

「安井息軒について」 宮崎県慶応三田会 一九九九年一〇月

「幕末の校勘学について」 東アジア出版文化の研究シンポジウム (東北大学主催・於仙台)二〇〇三年一一

開発表 (A) 二〇〇六年八月六日・七日於パシフィコ横浜 「東アジアの出版と地域文化 -むかしの本のものがたり―_

東アジアの出版と出地域文化シンポジウム・パネラー」 二〇〇六年度科学研究費補助金研究成果公開促進費研究成果公

(磯部彰編・汲古書院・二〇〇八)に所載

|中国古籍流通学について| 中唐文学会大会 二〇〇六年一〇月七日於杏林大学

中 -国の書物における展示と政治」 国立民族学博物館共同研究会主催―展示という語りの多様性と政治性に関する研究

100七年九月八日

日本中世五山 (伊達市噴火湾研究所共催) 版と知識層の形成」 ―セミナー東アジアむかしの本のものがたり―二〇〇七年九月二九日 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業 東北大学東北アジア研究センタ

「台湾故宮所蔵観海堂旧蔵日本古鈔本『論語集解』 の価値」 台湾国立故宮博物院・淡江大学主催 ―再造と衍義 ・文献学国

際学術研討会―二〇〇七年一一月一五・一六日

と発展のために―京都大学人文科学研究所主催「漢字文化三千年」国際シンポジウム二〇〇七年一二月一〇~一二日 「宋版の受容と日本の漢学」 京都大学二一世紀プログラム東アジア世界の人文情報学研究教育拠点― 漢字文化の全き継承

○○八年一一月六日~九日)二○○八年一一月八日、 日本慶長期漢籍活字本出版の意義」(中国語) BeijingForum二〇〇八(北京論壇) 北京大学歴史系(辛徳勇主催) に於いて発表 北京大学主催

北大学東北アジア研究センター・ 「一六世紀末至一七世紀初日本慶長時期漢籍活字本出版の意義」 日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業 韓国高麗大学中国学研究所・中国復旦大学中国古代文学研究中心共催 二〇〇八年九月二

日於復旦大学発表

中日古籍交流史 ―以宋刻本為中心」(中国語)中国国家図書館 中国古籍保護センター講座 二〇〇九年一二月一六日 於於

中国国家図書館

「宋刻本在日本流伝之意義」(二〇〇九年一二月三〇日・中国語) 北京大学古文献研究所講座 (於北京大学)

日本漢籍古鈔本概説」(二〇一〇年三月一九日・中国語) 北京大学古文献研究所講座 (於北京大学

「和刻本入門」(二〇一〇年三月一九日・中国語) 北京大学海外漢学研究基地講座 (於北京大学

「中日古籍交流史─宋刻本与五山版」(二○一○年三月二六日・中国語) 北京大学海外漢学研究基地講座 (於北京大学

「日本流伝論語小考─正平版与古鈔本」(二○一○年三月九日・中国語) 中国典籍与文化国際学術研討会 (北京大学・米国

エール大学共催、於北京大学)

「和刻本入門」(二〇〇九年一二月三日・中国語) 復旦大学古籍整理研究所古文献 · 新視野系列講座

中日古籍交流史之一側面-宋刻本与日本漢学」(二〇〇九年一二月四日・中国語) 復旦大学古籍整理研究所古文献

野系列講座(於復旦大学

|清朝宮廷蔵書について」 二松学舎大学人文学会第一○三回講演||二○一一年七月九日於九段校舎 中国書誌学の発展と現状」 韓国延世大学人文学研究院講演 二〇一一年六月一〇日於延世大学

清宮蔵書一斑」(中国語) 故宮学の範疇体系方法研討会(二〇一一年一一月一〇~一二日)北京故宮博物院故宮学研究所

主作

中国古文献研究中心主催 - 日本南北朝古鈔本『論語集解』の研究―猿投神社所蔵本の意義」(中国語) 二〇一一年一二月一七日於北京大学中関新園 中日 『論語』文献研究学術研討会

-清宮内閣蔵書一斑」(中国語) 第一四期社会と文化国際学術研討会 台湾淡江大学中国文学学系 二〇一二年五月四日於

顧起潛先生批校 『涵芬楼燼餘書録』」 (中国語) 語文と文献国際学術研討会 二〇一二年一二月八日於台湾大学

台北淡江大学

「室町時代の足利学校と論語 平成二五年度足利学校アカデミー 二〇一三年六月二二日於足利市生涯学習センタ

種徳堂本 『春秋経伝集解』について」 宮内庁書陵部收藏漢籍伝来に関する再検討合同成果報告会 二〇一三年一二月七

日於東京大学東洋文化研究所 日本南北朝 (一四世紀) 書写『論語』 古写本の現状」中国典籍日本古写本研究 (科研A) ワークショップ 二〇一四年

月二五日於東京国立博物館黒田記念館

中国絵入り本の歴史と諸問題」 リスボン新大学・慶應義塾大学共催ワークショップ 『東と西の絵入り本』 二〇一四年一

月二八日於リスボン新大学

IJ] 「漢籍を支えてきた蔵書文化」 天理ギャラリー第一五二回展 『漢籍と日本人』 講演 二〇一四年五月三一日於天理ギャラ

ンパス 「江戸時代藩校旧蔵書一 斑 二松学舎大学人文学会第一〇九回大会講演)一四年七月一二日於二松学舎大学九段キャ

日本の漢籍受容と古写本」 岩崎コレクション展示会記念講演会 二〇一四年一一月三〇日於東洋文庫

古典籍の流通と蔵書文化 「漢籍版本目録学について」 韓国延世大学人文研究院講演会 国立国会図書館 二〇一五年三月一八日於古典籍資料

致道館蔵書の世界」 鶴岡市郷土資料館 図書館開館一〇〇周年記念講演会 二〇一五年六月七日於鶴岡市 立

二〇一五年四月三日於延世大学

中国典籍の流通」 大東文化大学漢学会春季大会講演会 二〇一五年五月二七日於東松山校舎記念講堂

|活字印刷の重宝| ―古活字版漢籍について」 第二七回慶應義塾図書館貴重書展示会「活字文化の真髄」 講演会 五五

年一〇月一一日於丸善丸の内本店

|中国古典籍の大改革||写本から刊本へ|| のテキストについて」 実践女子大学・短期大学部公開市民講座 明星大学国際シンポジウム「世界の写本・日本の写本」 二〇一七年一月九日 二〇一五年一〇月三〇日於実践女子大学渋谷校舎

於明星大学日野キャンパス

足利学校と古写本 -中世漢籍の文化」 二〇一七年度足利学校アカデミー 二〇一七年六月二四日於足利市生涯学習セン

タ

「安井息軒と安井文庫」 二〇一八年度安井息軒記念講演会(宮崎市安井息軒記念館主催) 二〇一八年九月二三日於宮崎市

清武文化会館小ホール

宋元版の鑑定」 杏雨書屋開館四○周年記念 第四〇回研究講演会 二〇一八年一〇月一三日於大阪武田科学振興財団

年号と漢籍」 元号-—史跡足利学校企画展基調講演 二〇一八年一一月一八日於史跡足利学校

熊本県立図書館保管漢籍細川文庫について」 くまもと文学・歴史館企画展「武士の教科書―永青文庫寄託漢籍資料から 講演 二〇一九年二月一〇日於くまもと文学・歴史館

漢籍と文庫 東洋文庫を中心として―」 漢字展-―四〇〇〇年の旅 講演 二〇一九年六月二三日於東洋文庫

第一四回鍼灸学校教員のための古典講座

合研究所

「古書の復元

-中国典籍の場合」

「宋版の受容と日本の漢学」 韓国延世大学人文研究院 講演 二〇一九年一二月六日

国教育部人文社会科学重点研究基地四川大学中国俗文化研究所 二〇二一年一〇月三〇日・三一日 「日本江戸時代(一七~一九世紀)出版文化上的清代考証学之影響」(中国語) 東亜漢文献与文化交流国際学術研討会 中

《書誌学一般》

「中国書誌学の現状」 二松学舎大学東洋学研究所集刊第三○集 服部大方軼事 ―松崎慊堂の書簡―」 「斯道文庫論集」第三四輯 (203 ~ 221 頁) (367 392 頁) 二〇〇〇年三月 二〇〇〇年二月

論語の世界― 現代に生きる論語―」 第一九回慶應義塾図書館貴重書展示会図録解説 二〇〇六年一月

二〇一九年八月一七日於北里大学東洋医学総

武士道と『論語』」 徳川将軍家の学問 ―紅葉山文庫と昌平坂学問所-—(二〇〇六年二月二八日~三月二六日江戸東京博物

館展示 図録)二〇〇六年二月二八日財団法人徳川記念財団

「文書の世界 紙背・零本・零巻・断簡・残葉 ―抱残守闕の意味」 極東証券寄附講座「古文書の世界」 関場武編 5 5 17

頁) 二〇〇七年五月

「古籍流通の意義 ─善本と蔵書史─」「中国古籍流通学の確立 ―流通する古籍・流通する文化」 早稲田大学中国古籍文化

アジア地域文化学叢書(22~51頁) 雄山閣 二〇〇七年三月

「宋版の受容と日本の漢学」「漢字文化三千年」(高田時雄編・臨川書店・二○○九年七月・31~31頁 『岩元文庫の魅力―偉大なる暗闇と美しさ―」「南風」(鹿児島大学図書館報六三号 二〇〇八年六月

「書誌学のすすめ─中国の愛書文化に学ぶ─」 東方書店 二○一○年九月三○日 274 頁

「古籍流通的意義──善本和蔵書史」「中国典籍与文化」総七二期(全国高等院校古籍整理研究工作委員会) 二〇一〇年一

(96~108頁) (中文)

·日本流伝中国古籍簡述」「文史知識」二〇一〇年第三期 二〇一〇年三月 (83~90頁)

|百年守望に学ぶ||「東方」三五五号(東方書店) 二〇一〇年九月

大事小辨、急事緩辨」「日本古書通信」九八○号(日本古書通信社・二○一一年三月)

·漢籍と料紙」「必携古典籍古文書料紙事典」(宍倉佐敏編著・八木書店・二〇一一年七月・28~

「書物文化の真・善・美」「東京人」三〇三号(二〇一一年三月)

「中国書誌学の発展と現状」「人文科学」九四号(韓国延世大学・二〇一一年九月 · 日本語

「皇帝文化の象徴―台湾故宮博物院―」「月刊みんぱく」第三六巻三号(国立民族学博物館・二〇一二年三月)

漢籍の書物搜索」 「書物の来歴、 読者の役割」(松田隆美編・慶應義塾大学文学部・極東証券寄附講座 文献学の世界

二〇一三年九月·181~193頁)

「古籍流通の文化史」「東アジア書誌学への招待」(大澤顕浩編・学習院大学東洋文化叢書・二〇一一年一二月・東方書

「戦争と書物」「戦争の教室」(松本彩子編 月曜社 二〇一四年七月 店

235 ~ 248 頁

愛書文化の真髄はここにあった─蔵書家が伝えた至宝」「東京人」二○一五年一二月 152 ~ 156 頁 都士出版

「日本所在漢籍に見える東アジア典籍流伝の歴史的研究―宮内庁書陵部蔵漢籍の伝来調査を中心として―」 明 百 (n) 東洋

学」(東大東文研附属東洋学研究情報センター)三四号 二〇一五年一〇月

「活字文化の真髄─日本の古活字版と西洋初期印刷本─」 第二七回慶應義塾図書館貴重書展示会図録解説 二〇一五年

〇月

)「海を渡ってきた漢籍 ―江戸の書誌学入門―」 日外アソシエーツ 二〇一六年六月二五日

「文化財としての漢籍 -文化庁所蔵宋刊唐柳先生文集に出会って―亅 「東方」四五四号 (東方書店) 二〇一八年

「中国蔵書家のはなし─続々書誌学のすすめ─」「東方」四六三号(東方書店)二○一九年九月~継続中

(慶應義塾大学文学部 摸造の歴史 ―中国古籍の継承―」「書物と知の組織化」(安形麻里編) 二○一九年度極東証券寄附講座 二〇二〇年三月 13 ~ 20 頁 文献学の 世 界

化講座 「東アジアの書物交流」「漢字を使った文化はどう広がっていたのか」東アジアの漢字漢文文化圏 (文学通信 二〇二一年三月 413 ~ 417 頁 (金文京編) 東アジア文

|日本の漢籍文化||「岩崎文庫の名品―叡智と美の輝き」(東洋文庫編 山川出版社 二〇二一年二月 86 ~ 89 頁

「中国の古典と日本」「漢文教室」二〇七号(大修館書店 二〇二一年四月

「中国の蔵書文化と近代図書館」 「歴史学研究」 (歴史学研究会) 「中国の蔵書家について」『書物・印刷・本屋』日中韓をめぐる本の文化史(勉誠出版 二〇二一年六月 No. 1029 績文堂出版 二〇二二年一一月 786 ~ 806 頁)

『中国出版文化史』 井上進 名古屋大学出版会 二〇〇二年一月の書評

「中国文献学の名著」「東方」二五八号(東方書店)二〇〇二年八月

郘亭知見伝本書目』清莫友芝撰 傅増湘訂補 傅熹年整理 北京中華書局一九九三年の書評

「蔵園訂補

『伯克萊加州大学東亜図書館中文古籍書志』陳先行 上海古籍出版社二〇〇五年の書評

「中国版本学の一大成果」「東方」二二五号(東方書店)一九九九年一一月

『目録学発微』『古書通例』余嘉錫著 六月)の書評 『版本学の粋、そして古籍流動史へ」「東方」二九七号(東方書店)二〇〇五年一〇月 古勝隆一・嘉瀬達男・内山直樹訳 平凡社東洋文庫(二〇一三年七月・二〇〇八年

「中国文献学に親しむ」「東方」三九三号(東方書店)二〇一三年一一月

-XVI-